

九州と世界をつなぐ！ 1年目職員のスケジュール

「社会人1年目 私のリアルな一日見せます」

Q : 24時間のタイムスケジュールを教えてください。

A : 多様な国の方とお仕事をしています。

①8:30~12:00 ある日の午前の業務

出勤後、まずはメールと課内スケジュールを確認して業務スタートです。業務に関する国際関係の情報を収集するため、毎朝、地元紙・全国紙・専門紙の計6社の新聞をチェックします。

午前最初の業務として、海外メガバンク担当者が九州経済産業局を訪れ、九州企業との連携について**英語で打合せ**をしました。めったにないのですが、この日は急遽、通訳の方が同行できなくなり、ほとんどの対応が英語に…！ 少し焦りましたが、冒頭で私から国際広報資料（上司と作成しました）を使って九州の経済概況について説明した後、意見交換をしました。



打合せ後の11:00頃からは、3週間後の他国の要人来局に向け、その国と九州の関わりについての資料を作成しました。局幹部に基礎情報を把握してもらうことが目的で、具体的には、九州と近隣各国間の貿易統計、入国者数、留学生数などを各省庁の統計データから集めました。

②12:00～13:00 お昼休憩

昼食は、同期入省の職員と一緒に近くの飲食店へ。庁舎は博多駅徒歩7分にあるので、選択肢も豊富です。午前の業務のことやプライベートの話をし、リフレッシュすることで、午後に向けて気持ちを切り替えています。

③13:00～17:15 ある日の午後の業務

九州経済産業局では、外国政府公館などから20人ほどをお招きし、九州地方の企業との協業・連携を促進するためのツアーを毎年実施しています。開催前の時期には、地元経済団体の担当者と行程表や視察内容などの打合せをしました。

また、午前に来局されたメガバンク担当者が福岡市内でセミナーを開催したので、情報収集のために出席しました。参加者との交流会もあり、名刺交換をして人脈を広げました。時期によっては定時の17:15を超えて残業することもあります。それでも概ね18時頃には退庁しています。



④休日の過ごし方

アウトドア派で、土日のどちらかは必ず出かけるようにしています。買い物やドライブ、自然スポット散策、サッカー観戦、家族との時間、などなど。何も予定がない時は、勉強ができるカフェで英語の勉強をすることもあります。

ただし、遊びすぎて仕事に支障が出るのは避けたいので、2～3週間に1回は昼寝を含めて12時間近く寝る日を設けています（某メジャーリーガーの「睡眠は質より量」という言葉を鵜呑みにしています笑）。

Q : 1年目で特に大変だったことは何ですか？

A : 1日の最初の試練は早起きです…

社会人になって半年以上が過ぎた今でも、出勤のために朝早く起きることが最初の試練です。大学生の頃はアラームもかけず、自分の好きな時間に目を覚ます生活を送っていたので…。

入省当初はパソコンのスキルに不安があったものの、ネットや生成AIを活用したり、同期や上司に相談したりすれば問題はありません。むしろ、抽出したデータをオーダーに沿った形に整えることに苦勞しています。

例えば、九州とある国の特定分野の関係についてまとめる作業では、どこで誰が何を目

的に使用する資料なのか（対外的に公表する資料なのか、参考情報として共有する内容なのか）を意識することが重要です。このような視点を持つことで、資料の内容がより具体的で実用的なものになるためです。時には自ら考えて付加価値をつけた資料を作成することもありますし、資料の受け手にとってより有益な情報を提供できるよう努めています。

また、国際関係の仕事では、直前で予定が変更されるなどイレギュラーな事象が多い印象です。メールや電話で、時には英語も交えながら、調整を行うことに苦勞しています。

Q : 入社前にイメージしていた社会人生活とのギャップはありますか？

A : 1年目から大きな事業に関わることができる！

1年目から役職の高い方々とお仕事をさせていただけることに驚いています。企業訪問では

社長ら経営層とお話しする機会があり、ただ先方の話を聞くだけでなく、意見を求められることもあります。複雑で、詳しい説明が必要な話は基本的に上司が行いますが、私が担当案件の施策を説明することもあります。

また、外国政府公館や外資系企業を九州に招くツアーでは、要人の前に立ち、誘導や案内などで英語を使う場面が連続しました。ツアー中のランチや移動中などのふとした会話でも、九州と各国の経済交流に関する意見を求められることもありました。このような貴重な経験を通じて、さまざまな視点を学び、成長する機会を得られます。



プライベート面では、自分のために使える時間が多いことが意外でした。思っていた以上に時間を確保でき、むしろ、学生時代よりもお金に余裕ができて趣味の幅が広がりました。九州経済産業局では休暇を取りやすく、夏

季休暇の制度も整っているため、国内の1~3泊程度の旅行も十分可能！1週間程度の国外旅行に行く同僚も多く、夏には同期の皆で大阪・関西万博に行きました！

(2025年4~10月に開催された大阪・関西万博には、経済産業省も日本館を出展するなど運営に深く携わりました。)

充実した仕事をするためには、オフの時間の使い方も大事だと感じています。自分がどのような社会人生活を送りたいか、いろいろな情報を収集しながら、じっくりと考えてみてくださいね。



しのざき

経歴：2025年に新卒で経済産業省 九州経済産業局へ入省。

※キャリアサイト「My CareerStudy」に掲載していた記事を再掲しています。